

はあもにいフェスタ 2018 第1回全体会（説明会） 議事録	
開催日時	平成 30 年 5 月 26 日（土） 10：00～12：30
会場	はあもにい 2 階学習室
参加者	20 団体 25 名、館長、副館長、事務局（緒方、安藤、河野、杉、大久保、伊井、内田、田中、村上）
次第	1. 男女共同参画基礎講座「肥後からの世界人 矢嶋 楯子」10:00～11:00 2. 館長挨拶・事務局スタッフ紹介 3. 参加団体紹介（資料①） 4. 昨年の「はあもにいフェスタ 2017」の様子紹介（資料写真付き） 5. はあもにいフェスタ 2018 ・開催日時、方針について ・参加要項（資料②） ※質問 ・テーマ案について・記念講演会講師案について（資料⑤） 6. 次回、第 2 回全体会について ・開催までのスケジュール（資料③）※質問
内容	●「はあもにいフェスタ 2018」の日程は、11 月 10 日（土）、11 日（日）の 2 日間 ・今年の参加団体は 33 団体+協力 2 団体の合計 35 団体です。うち新規団体は 4 団体です。（資料①参照） ・参加要項や事前スケジュールは資料②と③参照。 ●昨年の反省点を踏まえて ・昨年は約 3,000 人、地震の時は約 2,900 人、地震の前は約 3,500 名の集客があったので、今年は地震前の集客数に近づけるようにしたい。 ・男性、子育て中の親子に足を運んでもらいたい。 ●今年度の方針 ・メインホール・多目的ホールの利用について、事務局にご相談ください。 ・昨年度、団体が複数集まって企画した「つながるプロジェクト」は、今年度は参加者の負担の課題などの意見があり、予定はしておりません。 ・クイズラリーは毎年好評ですので実施しますが、皆さんの意見を反映し、内容やコースを少し見直したい。 ・ライズアップステージ（1 階） 今年度も開催予定。 ●テーマ案について 今年度の内閣府・男女共同参画週間（6 月 23 日～29 日）のキャッチフレーズは、「走りだせ、性別のハードルを越えて、今」です。スポーツに関わるあらゆる分野での女性の参画を推進し、様々なスポーツに男性も女性も親しみ、チャレンジし、活躍できるようになるためのキャッチフレーズ。 事務局でも、今年も「はあもにいフェスタ」を上記の視点を取り入れつつ、昨年参加の少なかった親子・男性が足を運びやすいものとして開催したいと考えている。

【テーマ案】

- ・全ての（あらゆる）垣根を超えて、大きくジャンプしよう！
（熊本地震からホップ１年目、ステップ２年目、ジャンプ３年目）
→震災のときが、ステップだったので、今年はジャンプでどうか。
- ・ここにいる あなたも 誰かの 伴走者
- ・未来につなげる思いやりの心
- ・誰もが人生の長距離ランナー 声掛け合って、いっしょに走ろう！
- ・ルールの中で楽しく
- ・チャレンジ！！可能性は無限大
- ・互いの違いを理解して 性別のハードルを越えていこう、今！
- ・LIFE～多様性を認めよう それぞれの生き方～
- ・LIFE～未来へつなぐために今できること（熊本から）～

※団体意見

- ・メインテーマを、近隣の小学校に募集しては？これは宣伝の効果もあるので。
- ・近隣の小学校に募集することにより、生徒の親、祖父、祖母など幅広い層の来館が見込まれるのではないかなと思う。
- ・教員の立場からですが、学校に募集すると先生が配るのが大変ですので、やりませんか？とまずお声かけしてから、何組に何枚いりますか？の方が学校側としては助かる。
- ・男、女と入れてほしくない。男性、女性と限定になるので・・・。
- ・大きなテーマはみんなで決めて、サブテーマを小学校などに募集を出すのはどうか？何かないと集まらないと思うので、表彰をすとか、景品を出すとかしたほうがいいのではないかな。

一旦事務局でお預かりし、スタッフで話し合い、前向きに募集検討したい。第２回全体会の際に、結果を報告したいと思っている。

●記念講演会講師案について

※事前に各団体に記念講演会の講演者を募集したところ、数名の候補者が挙がりました。

- ・熊本出身のスポーツ選手
- ・ロアッソまたは、ボルターズの選手またはその関係者など
- ・末續慎吾（年齢に負けず頑張っている。熊本出身）２票
- ・細川佳代子（元県知事の妻。スペシャルオリンピックス日本名誉会長）
- ・中村勝子（スペシャルオリンピックス日本を熊本に設立）
- ・アグネス・チャン
- ・増田明美（元マラソン選手。配偶者が熊本出身。熊日に連載中）
- ・アスリートママの誰か
- ・原晋（青山学院大学陸上部監督）

・鎌田 實…昨年9月に益城文化会館で熊本県精神病院共同組合の主催で講演。現在は諏訪中央病院名誉院長、一貫して「健康づくり運動」を実践され、長野県を長寿日本一に導かれたことでも有名。他にも海外の放射能汚染地帯へ医薬品の支援やイラクの小児病院でも診察を実施されています。

・為末大…スポーツとLGBT 支援の視点

・にじいろ家族 小野 春…にじいろかぞく代表東京在住。実子ふたり＋パートナーの娘＋パートナーとの5人家族。連載中

・坂本義喜…熊本県、食肉解体作業員、「いのちをいただく」絵本を出版し、講話を県内各地で行っている。

・工藤房美…48歳で子宮がん、余命1カ月を宣告される。がんを完治。宮崎県出身。

・中尾有沙…陸上三段跳びの元日本女王。背髄損傷、東京パラリンピックを目指す

・有森 裕子…マラソン銀・銅メダリスト

たくさん講師案をあげていただいたので、事務局で検討して、後日お知らせ致します。

●次回全体会開催日について

第2回全体会／6月21日（木）13：30～15：30

別添の出欠確認票④と部屋希望届⑤に希望場所と区分、実施形態、希望備品を記載し、ご提出ください。（6月8日㍻）。